

志賀原子力発電所 2号機 放水放射線モニタサンプルポンプの停止について

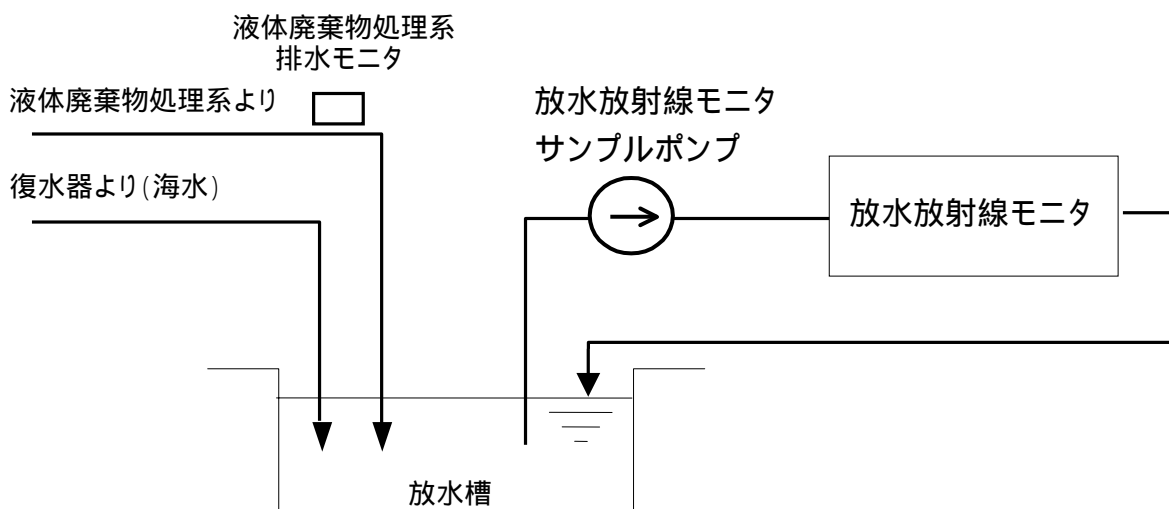
志賀原子力発電所 2号機は、第 1 回定期検査中のところ、8 月 6 日 14 時 51 分頃、放水放射線モニタ*へ海水を供給している放水放射線モニタサンプルポンプが停止しました。当該ポンプの性能の低下が考えられたため、翌日に当該ポンプを予備品のポンプと取替え、当該系統は正常な状態に復旧しました。

当該ポンプを分解点検したところ、内部に堆積した砂や貝等による磨耗がポンプの羽根部分等に確認されました。そのために、ポンプ性能が低下し停止に至ったものと考えられます。

今後、当該ポンプの交換周期を短くするなど管理方法の見直しを行います。

外部への放射能による影響はありません。

*：当該放水放射線モニタは、発電所外へ放出される海水中に含まれる放射性物質の濃度を連続監視するものです。液体廃棄物処理系で処理された排水を放水槽に放出する場合は、放出前にサンプリングにより放射能が検出されないことを確認するとともに、放出時は液体廃棄物処理系排水モニタで連続監視を行っています。
なお、当該ポンプが停止していた間は、液体放射性廃棄物の排水は行っておりませんでした。



系統概要図